

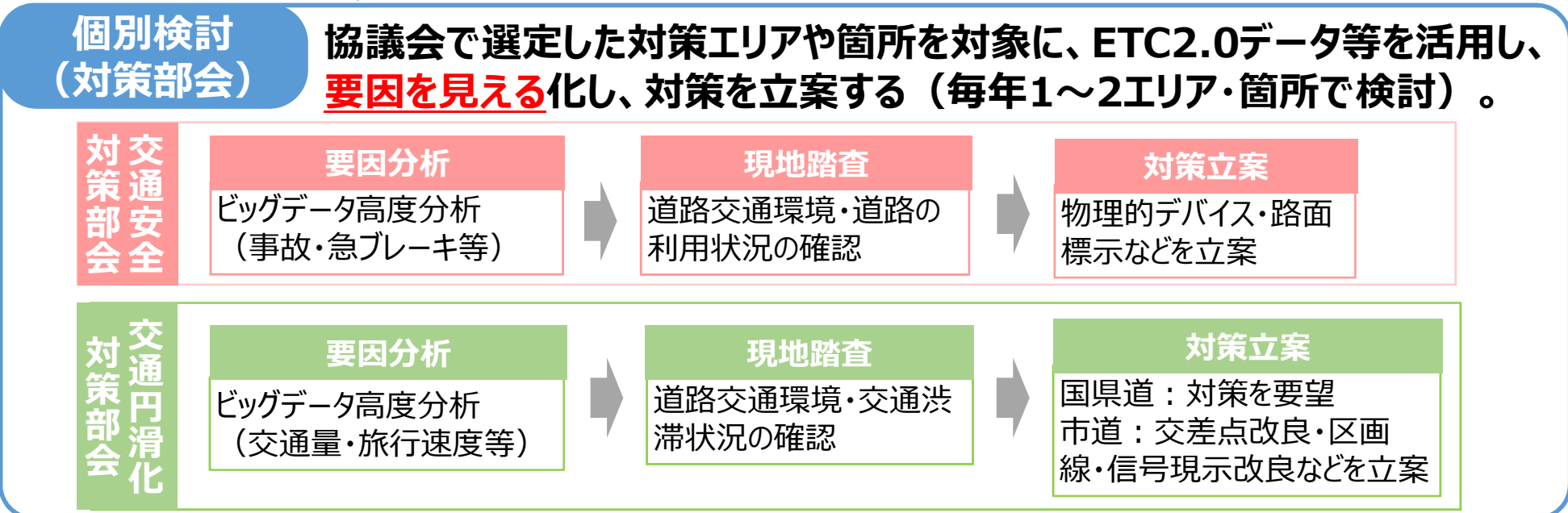
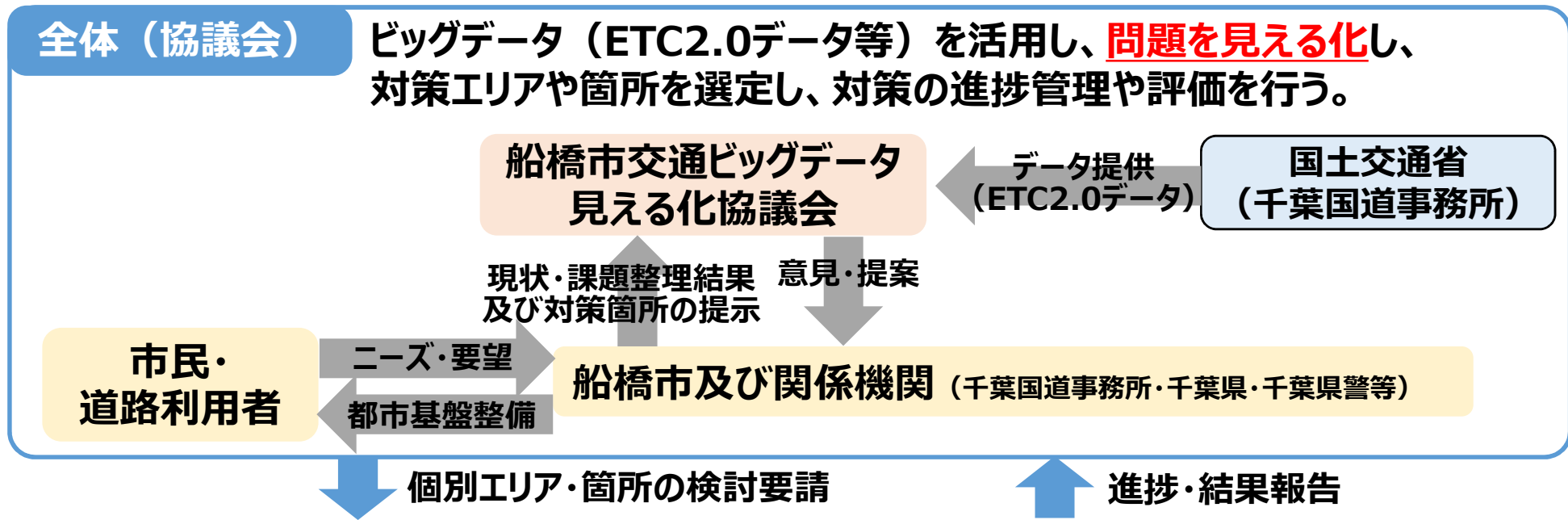
# 船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会 第1回会議

令和2年（2020年）8月

船橋市

No	議題	内容
1	本協議会の枠組みと進め方	協議会の目的（船橋市の交通安全・交通円滑化を相乗的に向上させる）を踏まえて、対策部会を設置し、交通安全・交通円滑化の具体検討に向けて、協議会と対策部会の役割分担と進め方を説明する。
2	船橋市の現状と課題	ビッグデータ（ETC2.0プローブデータ等）を活用して、船橋市の交通状況等の現状を整理した結果を紹介し、課題内容を共有する。
3	市の取組みに対する住民意見	2019年3月に実施した市民ニーズアンケート調査結果（道路に関する内容）を報告する。
4	船橋市の課題まとめと対策箇所を選定	現状と課題及び市民ニーズの整理結果をとりまとめ、対策エリア・箇所を選定方法案を説明する。
5	今後の予定	今後の予定を説明する。

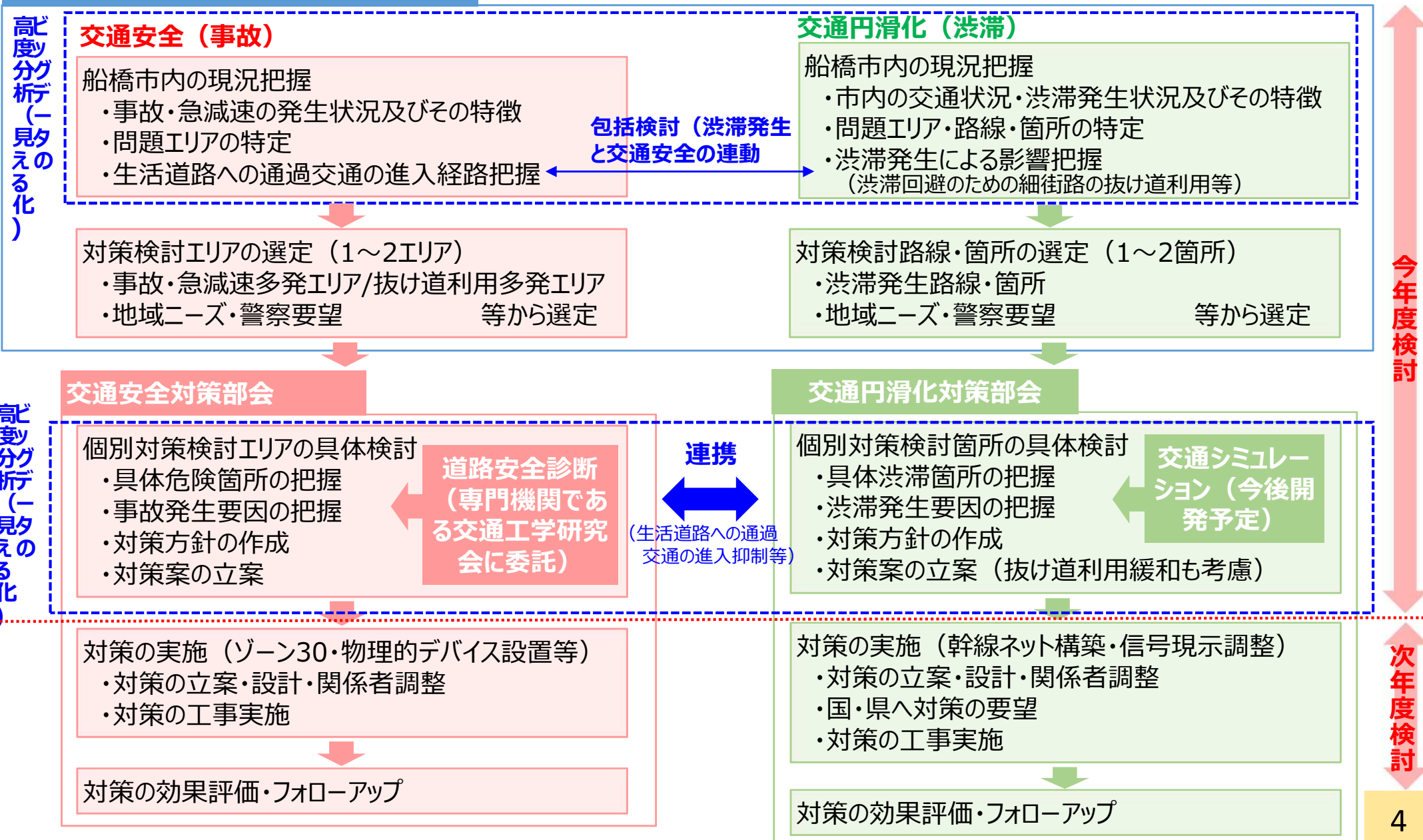
# 1. 本協議会の枠組みと進め方



# 1. 本協議会の枠組みと進め方

## (1) 協議会と対策部会の役割分担

### 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会



# 1. 本協議会の枠組みと進め方

## (2) 対策部会のメンバー案

### 交通安全対策部会

交通安全対策部会では道路安全診断（第三者による検討）を実施

委員		
学識経験者	日本大学 教授	小早川 悟
国土交通省 (道路管理者)	千葉国道事務所 交通対策課	専門官/係長
千葉県 (道路管理者)	葛南土木事務所 調整課	係長
千葉県 (交通管理者)	警察本部 交通規制課	係長
	船橋警察署 交通課	係長
	船橋東警察署 交通課	係長
船橋市 (道路管理者)	建設局道路部 道路建設課	係長



### 道路安全診断

学識経験者・道路安全専門家・ 交通工学専門家	4名
道路設計技術者※)	1名

※) 交通工学研究会認定（TOE・TOP取得）あるいは同等の資格保有者

### 交通円滑化対策部会

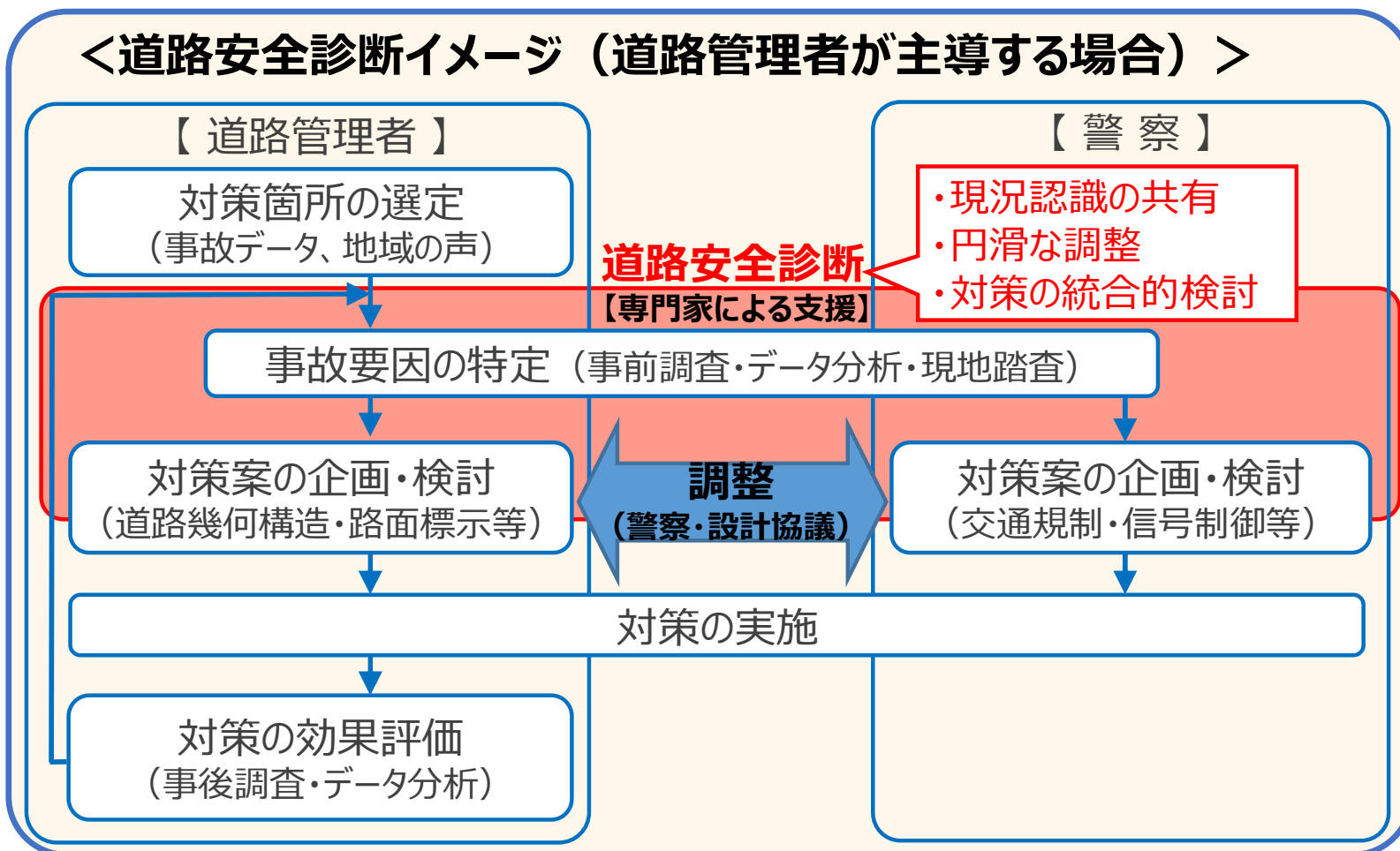
委員		
学識経験者	日本大学 教授	小早川 悟
国土交通省 (道路管理者)	千葉国道事務所 計画課	専門官/係長
千葉県 (道路管理者)	県土整備部 道路計画課	班長/主査
	葛南土木事務所 調整課	係長
千葉県 (交通管理者)	警察本部 交通規制課	係長
	船橋警察署 交通課	係長
	船橋東警察署 交通課	係長
船橋市 (道路管理者)	建設局道路部 道路建設課	係長

# 1. 本協議会の枠組みと進め方

## (3) 交通安全対策部会：道路安全診断の紹介

- 対策案の計画段階から道路管理者と警察が連携したところに、第3者である道路・交通安全の専門家（学識経験者等）が交通事故に関する地域課題、対策案等について技術的アドバイスを行う仕組みであり、より効果的な安全対策や管理者間の連携による総合的な安全対策の提案を行うものである。

### <道路安全診断イメージ（道路管理者が主導する場合）>





# 1. 本協議会の枠組みと進め方

## (4) 交通円滑化対策部会：交通シミュレーションの紹介

- H30東京都市圏パーソントリップ調査のOD表をベースとして、交通シミュレーションツールを開発予定である。
- 今後検討予定の各種対策を整備した場合の交通流動の変化や渋滞緩和状況等の効果予測が可能となる。

### 【ツール名：SOUND/AVENUE】



Simulation On Urban road Network with Dynamic route choice

広域道路網交通流シミュレーションシステム

■ 株式会社アイ・トランスポート・ラボ社製

■ 東京大学生産技術研究所で開発された純国産交通流シミュレーションモデル

#### SOUNDの特徴

- 数km～数100km規模の広域道路ネットワークにおける面的な施策評価に適用可能。
- 道路区間毎に与えた交通流特性式(Q-K式)により、粒状の車両を走行させるメソモデルを採用。\*1
- 車種毎の動的経路選択モデルで、走行中の交通状況変化や通行料金に応じた経路選択を表現可能。
- 事故や工事による車線閉塞、道路通行止めなどの交通規制を設定可能。
- 信号制御や交差点部付加車線、右左折禁止などの交通運用策を表現可能。
- カスタマイズにより、各種の情報提供サービスの評価が可能。



上 東京都区部速度分布  
右 アニメーション画面

### 【主な特徴】

■ SOUND：新規道路建設、TDMなど広範囲な施策を評価

■ AVENUE：交差点改良、信号制御、バス専用路線など街区・路線レベルの施策を評価



an Advanced & Visual Evaluator for road Networks in Urban areas

街路網交通流シミュレーションシステム

#### AVENUEの特徴

- 1交差点から数km四方の市街地規模のネットワークにおける各種交通運用施策の評価に適用可能。
- 交通工学の理論に裏付けされた「ハイブリッドブロック密度法」を採用し、車線別に10～20mの区間単位で車両密度を1秒単位で更新。\*1
- 車種ごとの動的経路選択モデルで、走行中の交通状況変化や通行料金に応じた経路選択を表現可能。
- 事故や工事による車線閉塞、道路通行止めなどの交通規制を設定可能。
- 信号制御や交差点部付加車線、右左折禁止などの交通運用策を表現可能。
- 車線別に車種や進行方向に対する交通規制を設定可能。
- 駐車場や案内誘導など、商業施設関連交通の影響評価にも適用可能。



左 3D背景モデルの読み込み  
下 3Dアニメーション画面